

# 現存する五大力船の舵と板図の解析

参加費無料

まつい てつひろ  
■ 講師: 松井 哲洋

2024年1月27日(土) 14:00~16:00

Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



千葉県外房の海と五大力船模型

五大力船は東京湾周辺で使用されていた100石ほどの小廻船。2022年開館の市原歴史博物館展示模型製作のため、現存している五大力船の舵や板図や船橋の漆に沈んでいる船などを調査し実船同様に「浮かべて遊べる1/20模型」を製作した。

■松井 哲洋 (まつい てつひろ)  
日本海事史学会会員  
昭和25年青森生まれ  
化学工場勤務後現在無職  
千葉縣市原市在住

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。  
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
お申込みいただいた方には1月24日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。  
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

- 申込〆切: 2024年1月23日(火) 正午(12:00)
- 申込先: [kaijishi.web@gmail.com](mailto:kaijishi.web@gmail.com) (担当: 大野)  
メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み (非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 2024年2月24日(土)・3月30日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

